

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:	指標の求め方: ※活動指標の設定が困難であるため、設定しない
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:	指標の求め方: ※成果指標の設定が困難であるため、設定しない

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画
		第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	総合 合計
指標	活動指標 1 (単位/)	計画値													
		実績値													
成果指標 1 (単位/)		計画値													
		実績値													
事業 評価 内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている										
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない										
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
	総合評価				良好である										
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析: 基幹系業務システム(総合行政システム)のハード・ソフトウェア機器更新および保守により、安定稼働が一定程度担保されている。	自己分析: 備荒資金組合への償還は完了しているが、基幹系業務システム(総合行政システム)のハード・ソフトウェア保守により、安定稼働が一定程度担保されている。	自己分析:	判断理由: 平成29年度の総合行政システム更新では、サーバやOS等の更新のみならず、クライアントパソコンも更新しており、安定稼働の一因となっている。	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
今後の方向性				現状のまま継続											
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)	R5: 安定したシステム稼働を維持していくためには、ハードウェアやソフトウェアの更新・保守を継続して実施する必要があるが、令和7年度中に基幹系20業務等を国のガバメントクラウドへ上げることが決定しており、ネットワーク構成が大きく変わることから、ガバメント移行後の安定稼働に留意する必要がある。				R8:				R10:						

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名： —	指標の求め方：※活動指標の設定が困難であるため、設定しない
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名： —	指標の求め方：※成果指標の設定が困難であるため、設定しない

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期 総合計画	
		第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	総合 合計
指標	活動指標 1 (単位/)	計画値													
		実績値													
指標	成果指標 1 (単位/)	計画値													
		実績値													
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている										
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない										
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
	総合評価				良好である										
	評価内容	自己分析： 総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由： 情報系システムのハード・ソフトウェア機器更新および保守により、安定稼働が一定程度担保されている。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：
今後の方向性					現状のまま継続										
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)	R5：安定したシステム稼働を維持していくためには、サーバやセキュリティ機器（ファイアウォール、スイッチ等）、セキュリティ関連ソフトウェア（ウイルス対策ソフト、SKYSEA等）の更新を継続して実施する必要がある。また、いずれは情報系システムをクラウドへ上げることも検討する。				R8：				R10：						

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名: キヨスク端末設置店舗数 (市内)	指標の求め方: キヨスク端末設置店舗数 (市内)
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名: 発行した証明書の件数	指標の求め方: 発行した証明書の件数
成果指標 2 (「成果」をもとに設定)	指標名: マイナンバーカード交付枚数率 (R5~マイナンバーカード保有枚数率)	指標の求め方: マイナンバーカード交付枚数率 (R5~マイナンバーカード保有枚数率)

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期 総合計画
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	
指標	活動指標 1 (単位/箇所)	計画値		12	12		12	12	12		12	12	12	12	
		実績値													
	成果指標 1 (単位/件)	計画値		264	1,272		1,483	2,121	2,121		2,121	2,121	2,121	2,121	
		実績値		328											
	成果指標 2 (単位/%)	計画値		50.0	60.0		70.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0	
		実績値		72.6											
事業 評価 内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている									
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					上がっている									
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					少し上がっている									
	総合評価					良好である									
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析		自己分析:	自己分析: 年度途中であるR5.1月からの実施であったが、広報紙、市ホームページ及び窓口等で周知を図ったことにより市民等に認知され、またマイナンバーカード交付枚数の急速な増加に伴い、サービス利用者も増加したものと推測される。キヨスク端末設置店舗数(市内)の計画値に対する実績値1減については、庁内設置していないため。	自己分析:	判断理由: 令和4年度途中からの実施であったが、広報紙、市ホームページ及び窓口等で周知を図ったことにより市民等に認知され、またマイナンバーカード交付枚数の急速な増加に伴い、サービス利用者も増加したものと推測される。住民の利便性の向上、窓口混雑の緩和や待ち時間の短縮が図られたことから「良好である」と判断した。	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:
今後の方向性					現状のまま継続										
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5: 令和4年度途中からの実施であったが、広報紙、市ホームページ及び窓口等で周知を図ったことにより市民等に認知され、またマイナンバーカード交付枚数の急速な増加に伴い、サービス利用者も増加したものと推測される。開始2年目の事業であり、今後も住民の利便性の向上、窓口混雑の緩和や待ち時間の短縮が期待されることから「現状のまま継続」と判断した。(令和5年7月15日現在の参加率全国67% 北海道26%)				R8:				R10:					